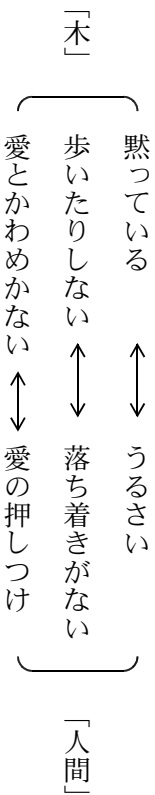


心情の変化

● 「くしないから好きだ」……消極的評価

暗

● 「人」との対比による「木」の評価



← 木の見直し

● 生活作法 || 他との関係性について考える

発見1 ▼ 大空の中で悠々と生き、大地にもしつかりと根を張って生きる姿。 ↑ ↓ 狭い世界で落ち着きのない人間

発見2 ▼ 何も言わなくても鳥が寄ってくるのは、愛（包容力）があるからだ。 ↑ ↓ 愛が無いから愛を叫ぶ人間（自己主張）

▼ 自然から取り込んだものを自然に戻す行為は正義そのものだ。 ↑ ↓ 奪うだけの人間（利己的）

発見3 ▼ 表情も個性的であり、それぞれが自分の世界（宇宙）を見て生きている ↑ ↓ 狭い世界で苦悩する人間

まとめ ● 「好きだ」から「大好きだ」……積極的評価 明

自分勝手に、自己主張ばかりする人間や、その社会にばかり目を向けて、それに囚われて、屈託していた詩人が、悠々として、大地に根を張り、宇宙と向き合う木の姿の発見を通して、より大きな視点を獲得し、自分の屈託や苦悩を相対化できた

← 屈託の晴れた爽快感・明るさ